

「みんなの地球のためにチャレンジ！カーボンニュートラルやまがた県民運動」について



山形県内の温室効果ガス削減率（第4次山形県環境計画より）

H25(2013)年度
〈基準年〉

R2年度
▲25.8%

R3年度
▲22.7%

R4年度
(2022)
▲27.7%

R12年度(目標)
(2030)
▲5.0%

R32年度(目標)
(2050)
▲100%

ゼロカーボン
やまがた
2050

カーボンニュートラルやまがた県民運動

(1) 概要

県民一人ひとりが身近なところから、できることからカーボンニュートラルに向けたアクションにチャレンジし、「豊かで美しい山形県」を将来の世代に継承していくための県民総ぐるみの運動

(2) 推進体制

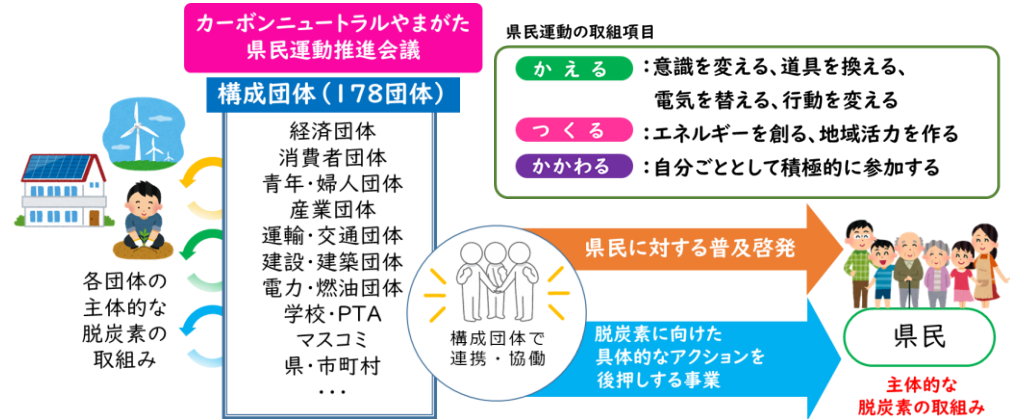
令和4年に、県民運動の推進組織として「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」を設立

(3) カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会

令和8年度は6月4日(木)に開催



令和7年度の県民運動推進大会



《スケジュール》※下線部分は新規

県民・業界一丸となって脱炭素に取組む機運を醸成

関係団体
関係団体
関係団体

運動参画への賛同

県民運動推進大会(6月)

各団体の主体的な取組みの集約・発表

- ・省エネ住宅普及・再エネ設備導入(4~1月)
- ・既存の省エネ住宅への再エネ設備導入(4~1月)
- ・省エネ家電買い替えキャンペーン(6月~12月)

- ・カーボンニュートラル大使活動(通年)
- ・若者向けSDGs7クイズ(6月~)
- ・学生環境ポスター活動(6月~)

標語・ポスター(6~9月)

- ・CO₂排出量可視化ツール(通年)
- ・脱炭素化カード(夏・秋)

ガイドブック配布(7月~)

- ・各種イベント(スポーツ・文化イベントややまがた環境展)

普及啓発事業

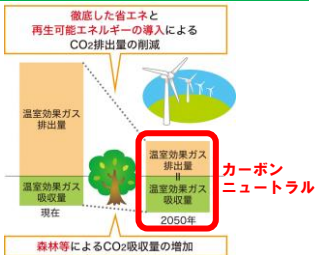
各種キャンペーン等 県民を後押しする事業

- ・DENKI
- ・カーボンニュートラル大使の活動補助(6月~)
- ・水素利活用実証事業(6月~)
- ・中小企業の脱炭素経営支援(7~1月)
- ・脱炭素ドミノ推進勉強会の開催(7月~)
- ・公共交通機関利用・エコドライブ

1 はじめに ~地球温暖化とカーボンニュートラル~

(1) カーボンニュートラルとは

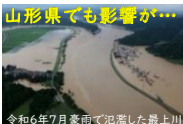
大気中に排出されるCO₂等の温室効果ガスの量から、森林等が吸収するCO₂等の温室効果ガスの量を差し引いて、全体を実質ゼロにすることです。



カーボンニュートラルは「自分ごと」

(2) なぜカーボンニュートラルが必要?

近年、集中豪雨など気象災害の頻発・激甚化、夏の猛暑による熱中症リスクの増加



山形県でも影響が... 令和6年7月豪雨で98.9度の最高気温

地球温暖化がその一因

温室効果ガス排出量の増加を抑え、「豊かで美しい山形県」を未来に引き継いでいくために ⇒ 2050年までにカーボンニュートラルの実現が必要!

エネルギー価格をはじめ、物価高騰が急激に進行

脱炭素アクションは、環境だけでなく健康やお財布にも優しい行動

よりスマートで、質の高い暮らしにつなげていくために

⇒ 今すぐにも、脱炭素アクションを実践してみましょう!



山形県消費者物価指数(エネルギー)の推移 (R2=100) (出典:山形県)

(3) 山形県のカーボンニュートラル推進

令和2年8月 知事が「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言 **START**

基本理念 山形県脱炭素社会づくり条例 (愛称: さくらんぼ未来の地球(あす)を守る条例)

PLAN 基本計画 第4次山形県環境計画 **PRINCIPAL**

ACTION 行動計画 **カーボンニュートラルやまがたアクションプラン** ⇒ 県民総ぐるみの体制を整え、県民運動として展開
推進体制 **カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議**

2 アクションプランの基本的な考え方等

(1) 策定の趣旨

持続的発展が可能な豊かで美しい山形県を目指して、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県民・事業者等が自主的かつ積極的に取り組むべき脱炭素アクションを明示し、それぞれの行動に結び付けるものです。

(2) 対象期間

令和8年度~令和12年度(5年間)

(3) 基本的な考え方

- あらゆる分野について脱炭素型のライフスタイルへの転換を促し、浸透させていく
- 当面は既存手法・技術を徹底活用しつつ、並行して新技術の導入も引き続き推進
- 環境と成長の好循環を図り、地域の課題解決にもつなげていく

(4) プランのスキーム(取組みの柱とアクション主体)、アクションの方向性

徹底した省エネの推進	×	家庭(県民)
再生可能エネルギーの導入拡大		産業・事業(事業者)
その他のアクション		公共分野(行政)



未来のために、**かえる**:意識を変える、道具を換える、電気を替える、行動を変える
つくる:エネルギーを創る、地域活力を作る 脱炭素アクションを
かかわる:自分ごととして積極的に参加する 今、始めましょう

3 カーボンニュートラルやまがた「4つのキーアクション」と推進月間

数ある脱炭素アクションの中から、効果や波及性、取り組みやすさなどの観点で、特に取り組んでいただきたい4つのアクションを厳選しました。みんなでチャレンジしてみましょう!

◆ カーボンニュートラルやまがた「4つのキーアクション」

★CO₂の見える化 ~CO₂排出量やエネルギー費用の見える化は、アクションのはじめの一歩~

→ まずは県民向けの見える化ツールの活用や、省エネ診断の活用を通して、CO₂排出量やエネルギー費用を測定し、次の脱炭素アクションへつなげましょう。



★エコドライブの実践・エコカーの導入 ~ふんわりアクセスや、エコカーへの乗換えでさらにお得に~

→ 車を運転する際はエコドライブを当たり前に。さらに、環境にもお財布にも優しい電気自動車などのエコカー(次世代自動車)への買換えも検討しましょう。



★建物の断熱化・機器の省エネ化 ~高気密・高断熱化や機器更新で、光熱費を抑えつつ快適に~

→ リフォームや部分改修などで建物の断熱性能を高めるとともに、省エネ家電への買換えや高効率設備の更新を進め、光熱費を抑えつつ快適な暮らし・職場環境を実現しましょう。



★再エネ設備導入・再エネ由来電力への切替え ~再エネで未来を明るく~

→ CO₂排出削減に大きく貢献する再エネ設備導入を進めましょう。また、再エネ由来電力への切替えは、企業価値や魅力の向上にもつながります。



⇒ 具体的な脱炭素アクションは、別紙へ

◆ 6月は「カーボンニュートラルやまがた推進月間」

6月はさくらんぼをはじめ、山形の恵みがぐんぐん成長する時期。

この実り豊かな山形県を将来世代に引き継いでいくため、一人ひとりが「自分ごと」として振り返って考える月として、6月を推進月間に位置付けます。



4 推進体制と数値目標

(1) 推進体制

県では、令和4年5月、県、市町村、消費者団体、経済・産業界、農業界、交通・運輸業界、電力業界等の代表及び報道機関、教育機関等170を超える構成団体からなる「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」を設立しました。

この推進会議を母体に、県民総ぐるみの県民運動を展開します。



令和7年度カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会

(2) 数値目標(第4次山形県環境計画と共通の目標値)

項目	直近値 (2024(令和6)年)	目標値 (2030(令和12)年)
やまがた省エネ健康住宅の年間新築戸数	259戸/年	360戸/年
環境マネジメントシステム等に基づく取組みを行っている事業所	290事業所	800事業所
全登録車数に占める次世代自動車普及率	32.3%[152,252台]	50%[243,000台]
再造林面積	153ha/年	200ha/年
県内電力総需要量に対する県内で発電された再生可能エネルギーの割合	34.8%	43.4%

家庭でのアクション

★はキーアクション関連

・山形県で排出されるCO₂のうち、家庭部門からの排出量は2割を超えており、その割合は全国に比べて高くなっています。
・2050年は遠い将来ではありません。物価高が続く中、身の回りを点検し、家庭での脱炭素アクションにチャレンジしましょう。

徹底した省エネの推進

- (1) 家電・給湯での省エネ
 - ★ 省エネ性能の高い照明や家電製品に買い換える ・ 家電を効率よく使う
 - ★ 給湯機をヒートポンプ式(エコキュート)に
- (2) 建物での省エネ
 - ★ 高気密・高断熱な住宅を建てて健康で快適に暮らす
 - ★ リフォームでサッシ交換や内窓を追加し、窓の断熱性能を高める
- (3) 乗り物での省エネ
 - ・ まずは自家用車以外の交通手段を考えてみる
 - ★ 自家用車に乗るときはエコドライブ ★ 自家用車を次世代自動車に
- (4) 行動での省エネ
 - ★ まずはCO₂排出量の「見える化」から
 - ・ 「つばなし」をやめる
 - ・ まとめる(洗濯宅配…) ・ 冷暖房は適切な温度に
 - ・ なるべくごみを出さない ・ 地元産の旬の食材、地元企業の製品、県産材を選ぶ



買い換え時に検討

あなたの排出しているCO₂は何トン?

減らしてみよう!



再生可能エネルギーの導入拡大

- (1) 再エネ発電設備の導入
 - ★ 太陽光発電設備等を設置する ・ 自家消費して電気の購入量を減らす
- (2) 再エネ蓄電設備の導入
 - ・ 日中発電した電気を貯めて夜間に使用
- (3) 再エネ熱の利用
 - ★ 木質バイオマスで暖房、地中熱で融雪
- (4) 使用する電力の切替え
 - ★ 再エネ電力へ切り替える ・ EV+再エネ電力でゼロカーボン・ドライブ



その他のアクション

- (1) 脱炭素への意識転換
 - ・ 意識とライフスタイルを脱炭素へ転換 ・ 環境に配慮したエシカル消費の実践
- (2) 環境学習・環境イベントへの参加
 - ・ 子どもが学んできたことを家族で一緒に考える
 - ・ 若者向けの環境学習・イベントに積極的に参加する
- (3) 木や森との関わり
 - ・ 豊かな森林環境に触れ、保全活動に積極的に参加する ・ 日常生活で木製品を活用
 - ・ 県産木材で家を建てる
- (4) ブルーカーボン生態系の保全活動への参加



県の施策(家庭でのアクション推進)(主なもの)

- ★省エネ家電や次世代自動車の普及促進
- ★住宅の高気密・高断熱化の促進
- ★エコドライブの推進
- ★普段の生活で排出しているCO₂の見える化
- 家庭でのごみの削減
- 食育・地産地消の推進
- ★住宅の省エネ性能の向上と合わせた再エネ設備の導入促進
- ★県民が再エネで生み出したCO₂削減量(環境価値)の見える化
- 環境教育・環境学習の実施
- 子育て活動や森づくり活動の推進
- 樹氷復活県民会議による活動
- 薬場の保全活動等への支援
- 等

産業・事業でのアクション

・GXへの対応が必須となっている今、サプライチェーン全体で脱炭素を目指すという企業の動きが加速しています。
・エネルギー価格高騰の中、時流に乗り遅れずに産業・事業での脱炭素アクションを進め、グリーン成長を実現しましょう。

徹底した省エネの推進

- (1) 事業所自らの省エネ・脱炭素経営の推進
 - ★ 省エネ診断でエネルギー使用を「見える化」する ・ リモートワークの環境整備を進める
 - ★ 照明や工作機械等を省エネ設備へ更新する
 - ★ 事業所等の建物のZEB化を目指す
 - ★ 業務用車両を次世代自動車に更新する ・ 環境マネジメントシステムを活用する
- (2) 事業による省エネ
 - ・ 提供する製品やサービスで社会の省エネを図る
- (3) 農林水産業での省エネ
 - ・ 化学肥料、化学農業に依存しすぎない ・ デジタル技術を活用してスマート化



再生可能エネルギーの導入拡大

- (1) 大規模な再エネ発電設備の展開
 - ・ 洋上風力発電事業に様々な形で参入する
- (2) 分散型の再エネ利用
 - ★ 再エネ発電・蓄電設備を導入する
- (3) 再エネ由来電力への切替え
 - ・ 再エネを地産地消する
- (4) 新エネルギー導入の検討
 - ・ 水素エネルギー等の普及を見据えた検討を行う
- (5) 農林水産業での再エネ導入
 - ・ 加温施設で再エネ熱、再エネ電力を利用する



その他のアクション

- (1) 脱炭素への意識転換、技術開発等
 - ・ 経営・投資活動での意識転換を図る
- (2) 森林吸収源対策
 - ・ 建築物の木造化・木質化を進める
- (3) カーボン・オフセット
 - ・ J-クレジット制度を活用してオフセットする
- (4) 農林水産業での排出削減
 - ・ 秋耕等を行うことでメタン排出を抑える



J-クレジットの活用も

県の施策(産業・事業でのアクション推進)(主なもの)

- ★脱炭素経営セミナー等の開催
- ★高効率設備への更新、脱炭素化に向けた設備投資等への支援
- 循環経済への移行に向けた支援
- ★事業所等への再エネ設備導入支援
- 洋上風力発電事業の円滑な推進
- 地域主体の再エネ導入の支援
- 新エネルギー関連ビジネスへの参入促進
- 空港・道路の脱炭素化に向けた検討
- 吸収源対策としてのやまがた森林ノミクスの着実な推進
- 等

公共分野でのアクション

・自治体においても、一事業者としてCO₂排出削減に努めることはもちろん、提供するインフラやサービスについても脱炭素の視点を取り入れ、住民、事業者、関係機関、団体等と連携・協働しながら「地域の脱炭素化」に取り組んでいきましょう。

市町村における地域脱炭素の取組み

○地方公共団体実行計画(区域施策編)の策定・見直しにより、カーボンニュートラルと地域課題の解決を同時に目指す「地域脱炭素」に戦略的に取り組む

山形県のアクション(主なもの)

- 資源・エネルギー利用の削減とリサイクル促進
- 用紙類の使用量の削減
- 環境に配慮した購入・契約の推進(★次世代自動車への更新、再エネ電力への切替え等)
- 公共建築物の建築・管理等に当たっての環境保全への配慮

県庁舎はCO₂フリー電力

「かえる」とどうなる？ 家計を助ける「かえる効果」

注：本紙に掲載の事例は、特定の条件の下で試算したモデルケースであり、条件の変化により金額や効果は変動します。



カーボンニュートルやまがた
アクションプラン 別紙

Action01 省エネ家電への買換え

●年間電気代

年間電気代節減額

年間CO₂排出削減量



エアコン
(2024年型)
10年前と
比較すると...

▲約14%

27,714円

28,901円

※冷暖房兼用・壁掛け型・冷房能力2.8kwクラスでの試算

約3,800円
お得！

約52 kg-CO₂
削減！



冷蔵庫
(2024年型)
10年前と
比較すると...

▲約30%

10,540円～11,780円

8,277円

※定格内容量451～500Lの冷蔵庫での試算

約3,500円
お得！

約48 kg-CO₂
削減！



照明
LEDに変えると...

▲約86%

3,348円

465円

※ほぼ同じ明るさの白熱電球とLEDランプの比較

約2,900円
お得！

約39 kg-CO₂
削減！

5灯変えれば効果は5倍

100kg-CO₂をガソリン車からの排出量に置き換えると...

約850km(山形市～横浜市の往復分に相当)を
走った場合と同等になります。

(例：ガソリン車19.8km/L、排出係数：ガソリン2.32kgCO₂/Lで試算)

(出典)
一般財団法人 家電販売協会「スマートライフおすすすめBOOK 2025年版」製品の年間消費電力より算出
・年間電気代は、年間消費電力に電力料金目安単価(31円/kWh(税込))を乗じて算出
・電気料金目安単価：公営社団法人 全国家電電気製品公正取引協議会(2022年7月22日決定)
・年間CO₂排出量は、年間消費電力に全国平均のCO₂排出係数(0.423kg/kWh)を乗じて算出
(CO₂排出係数：電気事業省別排出係数(R6年度実績)RB.1.9環境省「経済産業省公表」)

Action02 断熱改修 ※想定ケース：築 約30年の戸建住宅 (H4省エネ基準適用)

●年間光熱費

年間光熱費節減額

年間CO₂排出削減量



全ての窓の
断熱改修

▲約6%

440,000円

415,000円

約25,000円
お得！

約500 kg-CO₂
削減！



全ての窓
+天井・床
断熱改修

▲約12%

440,000円

388,000円

約52,000円
お得！

約1,070 kg-CO₂
削減！

(出典)
国土省省民生活2025情報ステーション「建構費」ウェブサイト掲載資料(いずれの場合も約120㎡の2階建て住宅(11室)をモデルとし、グレードSの窓(熱損失率Uw=1.5)への断熱改修を想定)
・光熱費は表計算(地域区分：4地域)における2023年3月時点の料金表(中部電力・長野新電力)を用いて試算
・光熱費・CO₂排出量は、経済産業省の条件を仮定した上でシミュレーション結果の例(住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラムを使用)

Action03 次世代自動車とガソリン車との比較

●年間燃料代・電気代

年間燃料代・電気代節減額



ハイブリッド
車

▲約40%

約83,000円

約50,000円

約33,000円
お得！



電気自動車
(EV)

▲約51%

約83,000円

約41,000円

約42,000円
お得！

●充電・走行に伴う年間CO₂排出量

年間CO₂排出削減量



ハイブリッド
車

▲約38%

約1,170kg

約720kg

約450 kg-CO₂
削減！



電気自動車
(EV)

▲約51%

約1,170kg

約570kg

約600 kg-CO₂
削減！



電気自動車
(CO₂フリー
電力)

▲100%

約1,170kg

0kg

約1,170 kg-CO₂
削減！

(出典) 山形県環境エネルギー部において試算

◆試算に当たっては基礎データ

・燃費：ガソリン車19.8km/L、ハイブリッド車32.6m/L、電気自動車7.5kWh/kWh ・年間走行距離：10,000km ・ガソリン単価：1.64円/L ・電気料金：31円/kWh
・排出係数：ガソリン2.32kgCO₂/L、電気：0.423kgCO₂/kWhを使用、CO₂フリー電力は、電気自動車の充電に係るCO₂排出量をゼロとして計算

Action04 行動の省エネ

年間電気代等節減額 年間CO₂排出削減量

- ①冷蔵庫の設定温度を変える(強→中) 約1,900円 33kg-CO₂
- ②テレビを見る時間を1時間短縮する 約800円 7kg-CO₂
- ③照明(5灯)を使う時間を1時間短縮する 約400円 7kg-CO₂
- ④便座の設定温度を低くして使用する(中→低) 約1,200円 21kg-CO₂
- ⑤エアコンを使う時間を1時間短縮する 約3,700円 65kg-CO₂
- ⑥洗濯をまとめて行う(2回→1回) 約600円 22kg-CO₂
- ⑦エコドライブを実践する 約3,400円 61kg-CO₂
- ⑧再利用可能な水筒(マイボトル)を利用する — 18kg-CO₂
- ⑨再利用可能な買い物袋(マイバッグ)を利用する — 4kg-CO₂
- ⑩分別が必要なごみを分別して廃棄する — 183kg-CO₂
- ⑪宅配便を1回目の配送で受け取る — 2kg-CO₂
- ⑫家庭において太陽光発電由来の電力に切り替える — 2,088kg-CO₂

(出典) デコ活データベース(環境省)掲載データを基に山形県環境エネルギー部において試算(電気料金：31円/kWh)
※1 容量36Lの中扉で、設定温度を「強」設定から「中」設定にした場合(年間の電力削減額61.72kWhと想定)
※2 フレッシュボックスを1時間短縮した場合(電力使用0.07kWhと想定) ※3 照明5灯を1時間短縮した場合(電力使用0.0075kWh/灯と想定)
※4 設定温度を「中」設定にした場合(洗浄・乾燥・脱水・乾燥270分使用、年間の電力削減額38.71kWhと想定)
※5 3kgの洗濯物を2回に分けて1回で行った場合(電力使用0.05kWh/回、1日1回使用と想定)
※6 ガソリン自動車1日25km走行(年間180日)、燃費19.4km/Lからエコドライブで10%改善(21.3km/L)と想定
※7 マイボトル1本(500ml)1本/日の代わりにマイボトル使用(年間180日使用と想定)
※8 レジ袋1枚/日の代わりにマイバッグ使用(年間180日使用と想定) ※9 10.1日あたり890gのごみを分別して廃棄する想定
※11 年間12回(月1回)の受け取りを想定 ※12 燃費あたり1日1日の電力削減額11.4kWh(燃費あたり年間の電力削減額)と想定

脱炭素につながる新しい量感を暮らしで創る 国民運動 デコ活
くらしの中のエコロガキ

環境省では、生活者の様々な脱炭素に資する行動のCO₂排出削減効果のデータベース「デコ活データベース」を公開しています。

【環境省ウェブサイトURL】
<https://ondankataisaku.env.go.jp/decoaktiv/>



省エネ製品買換ナビゲーションしんきゅうさん

現在使用している家電を買い換えることで削減できる年間電気代、年間CO₂排出量等が簡単に検索できます。

【環境省ウェブサイトURL】
<https://ondankataisaku.env.go.jp/shinkyusuan/>



県民運動の主な事業

かえる

やまがた省エネ健康住宅(※)・再エネ設備パッケージ補助金(4月~1月)

年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築するとともに、太陽光発電設備等を設置する場合、その経費の一部を補助

○補助対象：やまがた省エネ健康住宅と併せて太陽光発電設備等を設置する新築住宅等

○補助金額：最大200.2万円

※ やまがた省エネ健康住宅
最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅



省エネ住宅普及啓発セミナー(7月~2月)

省エネ住宅のメリットを学ぶ県民向けセミナーと、省エネ住宅を建築する上で必要となる施工方法等を学ぶ事業者向け研修会を開催

事業者向け研修会→



新規

山形県住宅用太陽光発電設備(自家消費型)導入事業費補助金(4月~1月)

既存のやまがた省エネ健康住宅等へ太陽光発電設備を導入する場合、その経費の一部を補助

○補助対象：既存のやまがた省エネ健康住宅等へ設置する太陽光発電設備

○補助金額：最大63万円



金融機関と連携した県内企業の脱炭素経営促進(7月~1月)

・脱炭素経営の必要性やメリットを伝えるセミナーを開催
・自社の脱炭素経営に向けた取組みを検討するための経営塾を金融機関との連携により開催



省エネ家電買換えキャンペーンの実施(6月~12月)

家庭で使用している家電製品の買換えのため、キャンペーン期間中に対象店舗で対象製品を購入した方に賞品を交付



拡充

県民のCO2排出量の見える化等による脱炭素アクションの推進(通年)

・CO2排出量可視化ツール「デカボMYスコア」を活用した県内イベント等での普及啓発を実施
・脱炭素型ライフスタイルへの行動変容を促すための県民向けツアーやSNS等を用いたキャンペーンを実施



水素エネルギーの利活用に関する実証事業(6月~)

水素関連技術を用いた実証事業を支援し、水素の利活用を推進



県民運動の主な事業

つくる

やまがた省エネ健康住宅^(※)・再エネ設備パッケージ補助金(4月~1月) **【再掲】**

年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築するとともに、太陽光発電設備等を設置する場合、その経費の一部を補助

○補助対象：やまがた省エネ健康住宅と併せて太陽光発電設備等を設置する新築住宅等

○補助金額：最大200.2万円

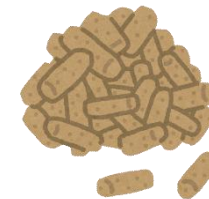
※ やまがた省エネ健康住宅
最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅



やまがた未来くるエネルギー補助金(4月~)

家庭や事業所が再生可能エネルギー等設備を導入する場合、その経費の一部を補助

○補助対象設備：蓄電池設備、木質バイオマス燃焼機器、地中熱利用空調装置・融雪装置



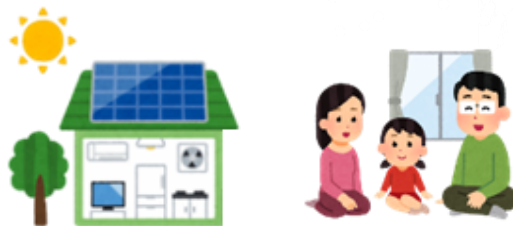
新規

山形県住宅用太陽光発電設備(自家消費型)導入事業費補助金(4月~1月) **【再掲】**

既存のやまがた省エネ健康住宅等へ太陽光発電設備を導入する場合、その経費の一部を補助

○補助対象：既存のやまがた省エネ健康住宅等へ設置する太陽光発電設備

○補助金額：最大63万円



カーボンニュートラル大使活動活性化支援補助金(6月~)

カーボンニュートラル大使^(※)が実施するカーボンニュートラルにつながる活動に対し補助金(上限5万円/団体)を交付

※ カーボンニュートラル大使
カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを実践している
県内小・中・高校生のグループ
(令和7年度：7団体)



県民運動の主な事業

かかわる

小学生向け学習教材の配布(7月～)

子供の頃から地球温暖化の理解を深め、「自分ごと」として自ら行動できる環境人材の育成のため、脱炭素の取組みをわかりやすく解説したガイドブックを作成・配布



カーボンニュートラル標語・ポスターコンテスト(6月～9月)

「カーボンニュートラル実現への思い」を標語やポスターで表現した作品を県民から募集

≪令和7年度グランプリ作品≫

◆ 標語

小学生の部	歩こうよ 少しの時間で 変わる未来
中学生の部	暑いよね～ 言ってるだけじゃ 終わらない
一般の部	省エネは 無理なく無駄なく 根気よく

◆ ポスター



若者向けSDGsワークショップ等の開催(6月～)

県内の中学生以上の生徒、学生等を対象としたワークショップ及び活動発表会を開催



学生環境ボランティアによる普及啓発(6月～)

県内の大学生等を学生環境ボランティア(やまかボ・サポーター)として登録し、イベントへのブース出展や出前講座を実施



やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会(7月～)

先進的・効果的な脱炭素施策に取り組む市町村等と連携し、県内における横展開を図るための、足掛かりとなる勉強会を開催

